執筆者(カナ)	執筆者	タイトル	掲載誌	発行所	掲載年月
あがたいっせき	縣　一石	『法子たらんと　宮沢賢治の闇と光』	『法子たらんと　宮沢賢治の闇と光』	ココデ出版	Jan-13
あかだひでこ	赤田　秀子	『イーハトーブ・ガーデン　宮沢賢治が愛した樹木や草花』	『イーハトーブ・ガーデン　宮沢賢治が愛した樹木や草花』	コールサック社	Sep-13
あかだひでこ	赤田　秀子	小林敏也「ポラーノの広場」を謎解きする	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
あきえだみほ	秋枝　美保	詩篇「春と修羅」と「冬のスケッチ」における表現の革新　「修羅」への階梯、「ゴオホサイプレスの歌」と	論攷宮沢賢治11	中四国宮沢賢治研究会	Jan-13
あきたしゅんこ	秋田　淳子	宮沢賢治の童話作品における「市場ネットワーク」についての一考察	『賢治とイーハトーブの「雲穣学」』	大河書房	Mar-13
いけだせいいち	池田　成一	啄木における「砂」のアレゴリー　賢治の「石」との比較のために	『賢治とイーハトーブの「雲穣学」』	大河書房	Mar-13
いしいみつえ	石井　光恵	片山健と『狼森と笊森、盗森』 ミステリアスな符号の交錯するなかで	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
いちのくらじゅん	一ノ倉　俊一	南部北上山地における思沙門道と谷権現の時空間的位置　宮沢賢治のまなざしが捉えたもの	総合政策15-1	岩手県立大学総合政策学会	Nov-13
いとうのぶふみ	伊藤　述史	吉本親鸞論への問い　宮沢賢治論から	流砂6	流砂編集委員会	Mar-13
いまだゆか	今田　由香	イメージの選択「銀河鉄道の夜」の場合	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
いりさわやすお	入沢　康夫	「ヒドリ」「ビテリ」問題その後	賢治研究121	宮沢賢治研究会	Aug-13
いりさわやすお	入沢　康夫	宮沢賢治の語彙	ちくま511	筑摩書房	Oct-13
うえしまふみこ	上島　史子	いわさきちひろのなかに息づく宮沢賢治	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
うのくにいち	宇野　邦一	吉本隆明『宮沢賢治』を読む	『吉本隆明謙獄の作法』	みすず書房	Aug-13
うめはらたけし	梅原　猛	宮沢賢治の思想	『人類哲学序説』	岩波書店	Apr-13
おおさわまさよし	大沢　正善	宮沢賢治とカーライル『衣装哲学』	岐阜聖徳学園大学国語国文学32	岐阜聖徳学園大学国語国文学会	Mar-13
おおしまたけし	大島　丈志	『宮沢賢治の農業と文学　過酷な大地イーハトーブの中で』	『宮沢賢治の農業と文学　過酷な大地イーハトーブの中で』	蒼丘書林	Jun-13
おおしまたけし	大島　丈志	挿絵画家	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
おおしまたけし	大島　丈志	「注文の多い料理店」の絵本化に関する三つの考察　不確定箇所の再創造を中心として	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
おおたてつお	太田　哲男	災害史のなかの宮澤賢治　その詩と「グスコーブドリの伝記」(上)	未来566	未来社	Nov-13
おおたてつお	太田　哲男	災害史のなかの宮澤賢治　その詩と「グスコーブドリの伝記」(下)	未来567	未来社	Dec-13
おおやさとし	大谷　哲	宮沢賢治「なめとこ山の熊」の深層構造　＜読み＞の再創成の試み	二松学舎大学人文論叢90	二松学舎大学人文学会	Mar-13
おかざきまさみ	岡崎　正道	宮沢賢治と帝国日本	『賢治とイーハトーブの「雲穣学」』	大河書房	Mar-13
おかざわとしお	岡澤　敏男	賢治と演劇　～私は気圏オペラの役者です～	ワルトラウラ36	ワルトラウラの会	Jul-13
おかだまさはる	岡田　政晴	『宮沢賢治　イーハトーヴォ信州からの発信』	『宮沢賢治　イーハトーヴォ信州からの発信』	ほおずき書籍	Oct-13
おかむらたみお	岡村　民夫	『柳田国男のスイス　渡欧体験と一国民俗学』	『柳田国男のスイス　渡欧体験と一国民俗学』	森話社	Jan-13
おかむらたみお	岡村　民夫	夏目漱石の明治三十九年　日本近代温泉小説の誕生	『温泉の原風景　論集温泉学Ⅲ』	岩田書院	Jul-13
おかむらたみお	岡村　民夫	映画の子、宮沢賢治	『没後80年　宮沢賢治　修羅の救済』	河出書房新社	Sep-13
おかむらたみお	岡村　民夫	宮沢賢治資料(49)「岩手医事」第六号	宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報47・アンドロメダ星雲	宮沢賢治学会イーハトーブセンター	Sep-13
おくもとあつえ	奥本　淳恵	詩章「風景とオルゴール」中の同日付連作四篇について	論攷宮沢賢治11	中四国宮沢賢治研究会	Jan-13
おのかおり	小野　かおり	宮沢賢治論　初期「全集」刊行をめぐる横光利一の動向	緑岡詞林37	青山学院大学日文院生の会	Mar-13
かくらいあつお	加倉井　厚夫	『銀河鉄道の夜』の映像化　解釈の諸問題について	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
かけいけん	賈　憲萱	「南二モマケズ」　日中文化の相互補完関係について	『相互研究としての国際日本学研究　日中韓文化関係の諸相』	法政大学国際日本学研究センター	Mar-13
かじまあつし	加島　篤	童話「月夜のでんしんばしら」の工学的考察(第3回)	十代302	ものがたり文化の会	Apr-13
かじまあつし	加島　篤	童話「月夜のでんしんばしら」の工学的考察(第2回)	十代301	ものがたり文化の会	Jun-13
かじまあつし	加島　篤	童話「月夜のでんしんばしら」の工学的考察(第4回)	十代303	ものがたり文化の会	Jun-13
かとうひろかず	加藤　碩一	イーハトーブの石の世界に見る多層的な差別構造	宮沢賢治研究Annual23	宮沢賢治学会イーハトーブセンター	Mar-13
かとうひろかず	加藤　碩一	「フルカニロ博士」命名論考	賢治研究120	宮沢賢治研究会	Apr-13
かまえだいき	構　大樹	〈宮沢賢治〉の始まり　初期需要の転換点をめぐって	日本文学62-12	日本文学協会	Dec-13
かわいひろし	河井　洋	賢治と法華と「浦仕舞」	季刊井153	レアリテの会	Nov-13
かわしまこうき	川島　幸希	「私がこだわった初版本」	『私がこだわった初版本』	人魚倶楽部	Dec-13
かんだまさあき	神田　雅章、米	南部北上山地における思沙門道と谷権現の時空間的位置　宮沢賢治のまなざしが捉えたもの	総合政策15-1	岩手県立大学総合政策学会	Nov-13
かんのとしゆき	菅野　俊之	「ふくしまと文豪たち　鷗外、漱石、鏡花、賢治、ほか」	『ふくしまと文豪たち　鷗外、漱石、鏡花、賢治、ほか』	歴史春秋出版	Feb-13
かんのひろし	菅野　宏	照応と省略　宮沢賢治の場合	『文学の言語表現学　言語表現学叢書第三巻』	表現学会	Jun-13
きむよんふぁん	金　容煥	宮沢賢治における生命倫理	『相互研究としての国際日本学研究　日中韓文化関係の諸相』	法政大学国際日本学研究センター	Mar-13
きむらなおひろ	木村　直弘	樺の木は青ざめ顫える　宮沢賢治＜土神ときつね＞再考	『賢治とイーハトーブの「雲穣学」』	大河書房	Mar-13
きむらなおひろ	木村　直弘	ハイパーテキストとして の《キルちゃん》 宮澤賢治による＜青森挽歌＞から＜マリウロンと少女＞へ の	岩手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要12	岩手大学教育学部附属教育実践総合セ	Mar-13
きるぱとりっくへ	Kilpatrick,	『Miyazawa Kenji and his Illusrators : Images of Nature and Buddhism in Japanese Children's Literatu	『Miyazawa Kenji and his Illusrators : Images of Nature and Buddhism in Japanes	Brill（Leiden,　Holland）	2013-
くどうてつお	工藤　哲夫	「ベコ石」の誕生	賢治研究120	宮沢賢治研究会	Apr-13
くぼむらりせい	久保村　里正	宮沢賢治童話に見る夜の光と色の視覚化	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
くらかずしげる	倉数　茂	「神話」としての賢治世界	『没後80年　宮沢賢治　修羅の救済』	河出書房新社	Sep-13
くりはらあつし	栗原　敦	資料と研究・ところどころ(4)続・『国訳妙法蓮華経』贈呈類別記号のこと、「稗貫農学校精神歌」「花巻農	賢治研究121	宮沢賢治研究会	Aug-13
くりはらあつし	栗原　敦	「銀河鉄道の夜」最終形の生成と「（或る農学生の日誌）」 夢・現実・軌道の交錯	実践国文学84	実践国文学会	Oct-13
こじまさとこ	小島　聡子	花巻方言の資料としての宮沢賢治作品	『賢治とイーハトーブの「雲穣学」』	大河書房	Mar-13
こしまちなつ	五嶋　千夏	もの足りない農本主義　宮沢賢治「ポラーノの広場」における産業組合と『家の光』	日本文学62-6	日本文学協会	Jun-13
こんどうけんじ	近藤　研至	「グスコーブドリの伝記」との「出会い」に絵本ほど関われるのか？	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
さいこうたけひこ	西郷　武彦	東日本大震災と宮沢賢治　＜順逆二面＞の自然観・人間観	『3・11を総合人間学から考える』	学文社	Jun-13
さいとうまさと	齋藤　正人	ワークショップで表現する宮沢賢治の世界	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
さかいきよし	酒井　潔	『ライプニッツのモナド論とその射程』	『ライプニッツのモナド論とその射程』	和泉書館	May-13
さくまやすあき	佐久間　保明	『残照の日本近代文学　一九二〇年前後』	『残照の日本近代文学　一九二〇年前後』	ゆまに書房	Mar-13
さくらいひろし	桜井　弘	元素で彩られた宮沢賢治の世界　作品のなかで元素を多用した原点を探る	月刊化学68-7	化学同人	Jul-13
ささきほぐな	佐々木　ポグナ	『宮沢賢治　現実の遠近法』	『宮沢賢治　現実の遠近法』	京都大学学術出版会	Mar-13
ささもとじゅん	笹本　純	小林敏也と「画本　宮沢賢治」『画本　雨ニモマケズ』を中心に	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
さとうたいへい	佐藤　泰平	賢治の心象スケッチ「マサニエロ」とオペラ「ボルティチの唖娘」（別名「マサニエロ」）をめぐって	賢治研究121	宮沢賢治研究会	Aug-13
さわむらしゅうじ	澤村　修治	旅する賢治	『没後80年　宮沢賢治　修羅の救済』	河出書房新社	Sep-13
しばむらきよ	柴村　紀代	絵本『雪渡り』にみる異次元の描き方	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
しまだたかすけ	島田　隆輔	文語詩未定稿「樹園」訳注・稿	論攷宮沢賢治11	中四国宮沢賢治研究会	Jan-13
しまだたかすけ	島田　隆輔	宮沢賢治学会定期大会講演	宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報46・光の酒	宮沢賢治学会イーハトーブセンター	Mar-13
しみずのぼる	清水　登・周	擬音語・擬態語の考察　『注文の多い料理店』を通して	長野県短期大学紀要67	長野県短期大学	Feb-13
しゅうけいぼう	周　桂芳・清水	擬音語・擬態語の考察　『注文の多い料理店』を通して	長野県短期大学紀要67	長野県短期大学	Feb-13
じょーじひーえ	ジョージ（P. A.	宮沢賢治とキリスト教者との交流　作品中のキリスト教的モチーフを中心に	『文学部企画学術講演会・シンポジウム報告書』	國學院大學文學部	Mar-13
すぎうらしずか	杉浦　静	宮沢賢治資料(48)　大正四年度盛岡高等農林学校入学試験問題「作文」	宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報46・光の酒	宮沢賢治学会イーハトーブセンター	Mar-13
すずきけんじ	鈴木　健司	『宮沢賢治文学における地学的想像力《補遺二題》　＜心象＞と＜現実＞の谷をわたる』	『宮沢賢治文学における地学的想像力《補遺二題》　＜心象＞と＜現実＞の谷を	文教大学	Mar-13
すずきけんじ	鈴木　健司	絵本『気のいい火山弾』を考える	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
すずきまもる	鈴木　守	『羅須地人協会の真実　賢治昭和二年の上京』	『羅須地人協会の真実　賢治昭和二年の上京』	友藍書房	Feb-13
すずきまもる	鈴木　守	羅須地人協会の終焉　その真実	羅須地人協会の終焉　その真実	鈴木守	Nov-13
すなやまみのる	砂山　稔	今、宮沢賢治とは誰か　銀河に旅する国民的詩人	『賢治とイーハトーブの「雲穣学」』	大河書房	Mar-13
せきぐちやすよし	関口　安義	植物医師　賢治童話を読む(28)	論叢児童文化50	くさむら社	Feb-13
せきぐちやすよし	関口　安義	賢治童話の絵本化　『虔十公園林』を中心に	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
だいみょうあつし	大明　敦	埼玉における宮沢詠歌の一考察　「幹なもやうの博多帯」の片岩について	埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要7	埼玉県立歴史と民俗の博物館	Mar-13
たかはしなおみ	高橋　直美	「鳥の北斗七星」論	ライフデザイン学研究8	東洋大学ライフデザイン学部	Mar-13
たけだひでお	武田　秀夫	賢治を焦点として	『楕円幻想　初期ドストエフスキー・漱石と賢治・初期古井由吉について』	現代書館	May-13
たけだひでお	武田　秀夫	漱石と賢治における＜父＞と＜母＞	『楕円幻想　初期ドストエフスキー・漱石と賢治・初期古井由吉について』	現代書館	May-13
ちょうしゅうえい	趙　秀英	宮沢賢治の文学における故郷	桜美林世界文学9	桜美林大学世界文学会	Mar-13
ちんえいしょ	陳　瀅如	台湾では翻訳されない賢治童話「雪渡り」 異本作業としての翻訳という観点から	言語・文学研究論集13	白百合女子大学言語・文学研究センター	Mar-13
つぬうきふぁん	周　桂芳・清水	擬音語・擬態語の考察　『注文の多い料理店』を通して	長野県短期大学紀要67	長野県短期大学	Feb-13
つついきよただ	筒井　清忠	「風の又三郎」考　映画による文学評価のはじまり	『没後80年　宮沢賢治　修羅の救済』	河出書房新社	Sep-13
つるだたしずか	鶴田　静	『宮沢賢治の接食思想』	『宮沢賢治の接食思想』	晶文社	Jun-13
てらかどかずお	寺門　和夫	『「銀河鉄道の夜」フィールドノート』	『「銀河鉄道の夜」フィールドノート』	青土社	Jun-13
とみやまひでと	富山　英俊	宮沢賢治とキリスト教の諸相　「天国」と「神の国」のいくつかの像	宮沢賢治研究Annual23	宮沢賢治学会イーハトーブセンター	Mar-13
なかがわもこ	中川　素子	抽象美術家による宮沢賢治童話の絵本化	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
なかざとまきこ	中里　まき子	高村光太郎「智恵子抄」における自我の詩的源泉　エミール・ヴェルハーレンと宮沢賢治	『賢治とイーハトーブの「雲穣学」』	大河書房	Mar-13
なかたにとしお	中谷　俊雄	賢治作品に出てくる野草　イネ科の植物を中心に	賢治研究120	宮沢賢治研究会	Apr-13
なかちあや	中地　文	宮沢賢治をめぐる人々	『東北近代文学事典』	勉誠出版	Jun-13
ながのあきこ	長野　晶子	風の又三郎の日・仏　悪魔の二つの貌	流域73	青山社	Dec-13
なかのたかゆき	中野　隆之	賢治童話「オツベルと象」を読む　世間話悪人オツベル伝	黒葡萄30	中野隆之	Dec-13
なかのゆき	中野　由貴	イーハトーヴ料理館(34)　宮沢賢治と味わう東北のおいしいもの(15)　薬のオムレツ	ワルトラウラ36	ワルトラウラの会	Jul-13
なかやあゆみ	中矢　あゆみ	寺山修司『奴婢訓』に描かれるイーハトヴ　「宮沢賢治」を用いる意味	寺山修司研究6	文化書房博文社	Apr-13
のふときてつろう	信時　哲郎	宮沢賢治「文語詩稿　一百篇」評釈一	甲南女子大学研究紀要文学・文化編49	甲南女子大学図書委員会	Mar-13
のふときてつろう	信時　哲郎	宮沢賢治「文語詩稿　一百篇」評釈二	甲南国文60	甲南女子大学国文学会	Mar-13
はぎわらたかお	萩原　孝雄	賢治と三島由紀夫（第二回）	賢治研究121	宮沢賢治研究会	Aug-13
はたなかあきひ	畑中　章宏	手帳のなかの庚申塔　賢治と災害フォークロア	『没後80年　宮沢賢治　修羅の救済』	河出書房新社	Sep-13
はたのかずひろ	秦野　一宏	宮沢賢治における科学と自然　『グスコーブドリの伝記』をめぐって	論攷宮沢賢治11	中四国宮沢賢治研究会	Jan-13
はやしまさふみ	林　正文	「凡夫の救済　宮沢賢治、中村久子と浄土真宗」	『凡夫の救済　宮沢賢治、中村久子と浄土真宗』	ツーワンライフ	Apr-13
はやしみちよ	林　美千代	『注文の多い料理店』　ページをめくると扉が開く	『絵本BOOK END』	絵本学会	Aug-13
はらしろう	原　子朗	『定本　宮澤賢治語彙辞典』	『定本　宮澤賢治語彙辞典』	筑摩書房	Aug-13
ばるばーすりじゃ	バルバース（ロ	『賢治から、あなたへ　世界のすべてはつながっている』	『賢治から、あなたへ　世界のすべてはつながっている』	集英社インターナショナル	Feb-13
ひおきしゅんじ	日置　俊次	宮沢賢治「やまなし」再論	青山語文43	青山学院大学日本文学会	Mar-13
ひとみちこ	人見　千佐子	賢治の見つめた東京	国際日本学10	法政大学国際日本学研究センター	Mar-13
ひらきたつみ	開　龍美	宮澤賢治における「ほんたうのさいはひ」について　環境思想の視座から	『賢治とイーハトーブの「雲穣学」』	大河書房	Mar-13
ひらさわしんいち	平澤　信一	吉本隆明の死と今後の賢治研究	宮沢賢治研究Annual23	宮沢賢治学会イーハトーブセンター	Mar-13
ひろせまさあき	廣瀬　正明	「宮沢賢治「玄米四合」のストイシズム」	『宮沢賢治「玄米四合」のストイシズム』	朝文社	Oct-13
ふじいよしひろ	藤井　義博	宮澤賢治の聖じい資量　茶素療法の知的枠組についての研究10	藤女子大学人間生活学部紀要50	藤女子大学	Mar-13
ふじむらかつひ	藤村　克裕	イーハトーブ＜色彩之学　黒にも色を見定める人	宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報46・光の酒	宮沢賢治学会イーハトーブセンター	Mar-13
ふじもとひろたか	藤本　垣孝	『銀河鉄道の夜』と法華経（補筆）	真世界6287	真世界社	Mar-13
ふるさわよしき	古澤　良樹	賢治作品を深読みする	賢治研究120	宮沢賢治研究会	Apr-13
ふるさわよしき	古澤　良樹	賢治作品を深読みする	賢治研究121	宮沢賢治研究会	Aug-13
ほえたみひとし	前田　富士男	モニスムスと生気論と生命中心主義　宮澤賢治／中原實／バウハウスにみる芸術と生命	『東西でしの磁場　日本近代の建築・デザイン・工芸における境界的作用史の研	国書刊行会	Mar-13
まつだころう	松田　司郎	宮沢賢治の深層へ　心象スケッチ論　第二部　存在の両義性　心象スケッチの現場から	ワルトラウラ36	ワルトラウラの会	Jul-13
まつもとさくよ	松本　季久代	不条理劇としての「グスコーブドリの伝記」　「犠牲の美学化」の時代と対峙する宮沢賢治	『賢治とイーハトーブの「雲穣学」』	大河書房	Mar-13
みかみみつる	三上　満	『賢治の旅　賢治への旅』	『賢治の旅　賢治への旅』	本の泉社	Jun-13
みやがわたけお	宮川　健郎	賢治童話の「絵本化」をほばむもの	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13
みやざわけんた	宮澤　健太郎	賢治作品における祈り　死と笑いを通して	『祈りの諸相　白百合女子大学キリスト教文化研究論集14』	弘学社	Mar-13
みやざわけんた	宮澤　健太郎	賢治とキリスト教(14)	『祈りの諸相　白百合女子大学キリスト教文化研究論集14』	弘学社	Mar-13
みやざわけんた	宮澤　健太郎	賢治における一人称変化と精神変化	賢治研究120	宮沢賢治研究会	Apr-13
むのたけじ	むのたけじ	イーハトーブ賞受賞者記念講演	宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報46・光の酒	宮沢賢治学会イーハトーブセンター	Mar-13
やまねともこ	山根　知子	宮沢賢治と大乗起信論　「心象スケッチ」の基層にある仏教的深層心理の認識	論攷宮沢賢治11	中四国宮沢賢治研究会	Jan-13
やまもとあきひこ	山本　昭彦	宮沢賢治の「発電所」と「詩への愛憎」	『賢治とイーハトーブの「雲穣学」』	大河書房	Mar-13
やまもとあきひこ	山本　昭彦	『春と修羅』と賢治にとっての「本」	『書物の来歴、読者の役割』	慶應義塾大学出版会	Oct-13
よこやまのぶゆき	横山　信幸	宮沢賢治「オツベルと象」と＜第三項＞	日本文学62-8	日本文学協会	Aug-13
よしみまさのぶ	吉見　正信	『宮沢賢治の心といそしみ』	『宮沢賢治の心といそしみ』	コールサック社	Sep-13
よしむらゆうすけ	吉村　祐介	「農民」の後景化　宮沢賢治「農民芸術概論綱要」再読	東北文学の世界21	盛岡大学文学部日本文学会	Mar-13
よねちふみお	米地　文夫	宮沢賢治「月夜のでんしんばしら」とシベリア出兵　啄木短歌・「カルメン」・「戦争と平和」との関係を探	総合政策14-2	岩手県立大学総合政策学会	May-13
よねちふみお	米地　文夫、一	南部北上山地における思沙門道と谷権現の時空間的位置　宮沢賢治のまなざしが捉えたもの	総合政策15-1	岩手県立大学総合政策学会	Nov-13
よねちふみお	米地　文夫	「「銀河鉄道の夜」解体新書　「楽しさ」「優しさ」「明るさ」を探る」	『「銀河鉄道の夜」解体新書　「楽しさ」「優しさ」「明るさ」を探る』	高菅書房	Nov-13
らいいうえん	賴　怡真	宮沢賢治童話の「兄妹もの」「青い鳥」「山椒大夫」との比較	近代文学論集38	日本近代文学会九州支部	Feb-13
らいいうえん	賴　怡真	「ひかりの素足」論　楢夫の「子捨て」におけるグリム童話「ヘンゼルとグレーテル」との関連性	九大日文21	九州大学日本語文学会	Mar-13
らいいうえん	賴　怡真	宮沢賢治「ペンネンネンネンネン・ネネムの伝記」と夢野久作「ドグラ・マグラ」の比較研究　ヘッケル、	九大日文22	九州大学日本語文学会	Oct-13
らいごう	雷　剛	中国においての宮沢賢治の翻訳と普及	『相互研究としての国際日本学研究　日中韓文化関係の諸相』	法政大学国際日本学研究センター	Mar-13
わたなおと	和田　直人	文字の絵本　風の又三郎	『絵本で読みとく宮沢賢治』	水声社	Oct-13